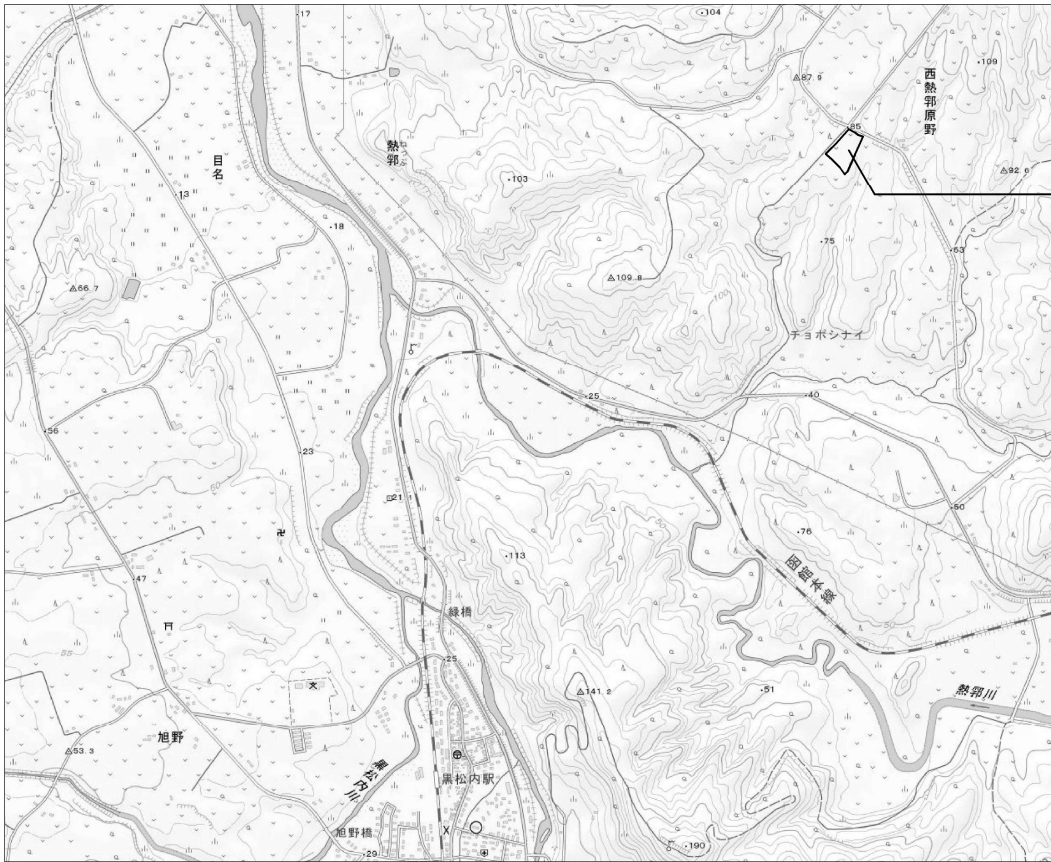


参考資料 ①

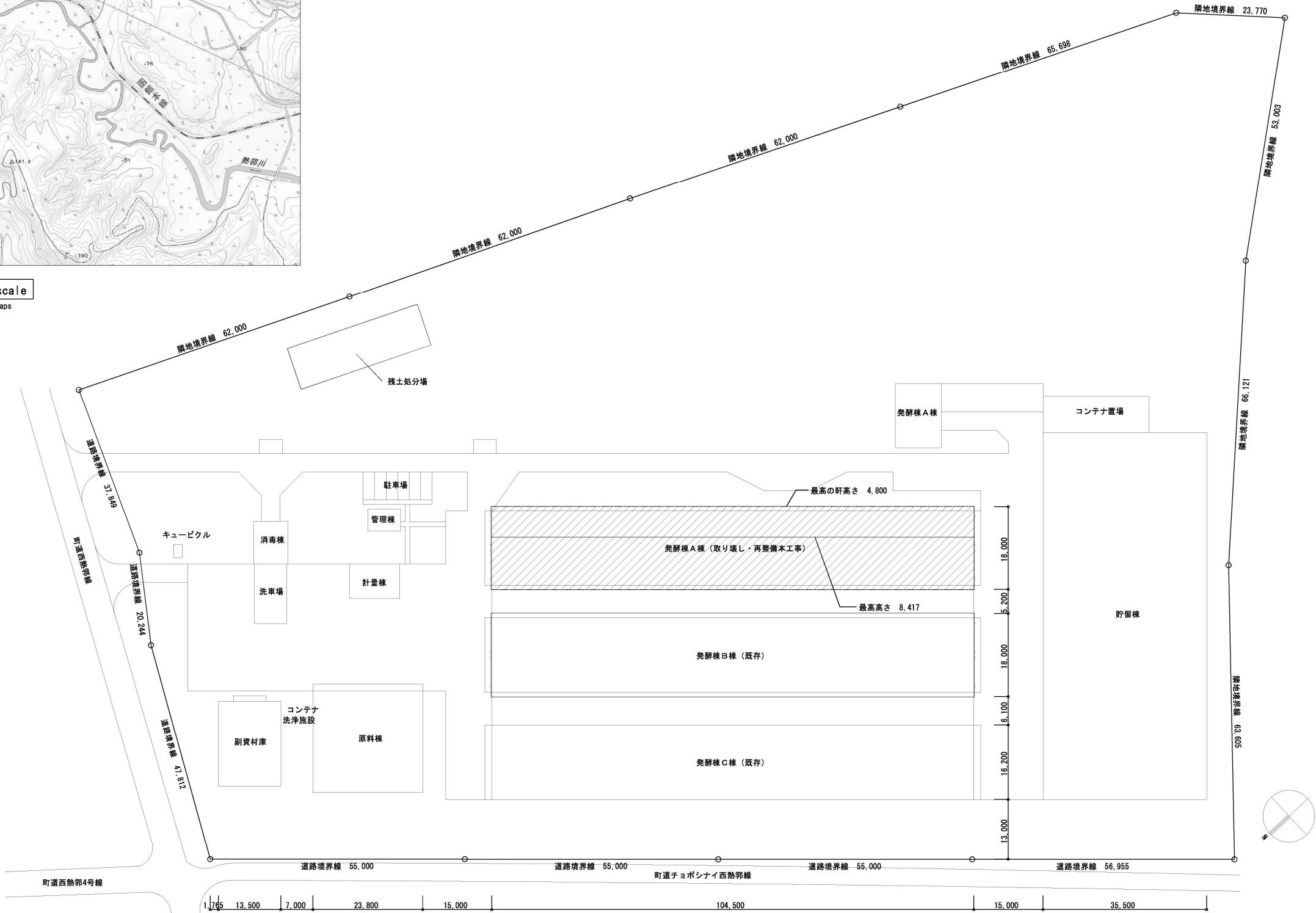
※ 公表時点の参考資料であり、今後変更となる場合があります。



黒松内町堆肥センター
(寿都郡黒松内町字西熱郭原野214-5の内、214-8の内)

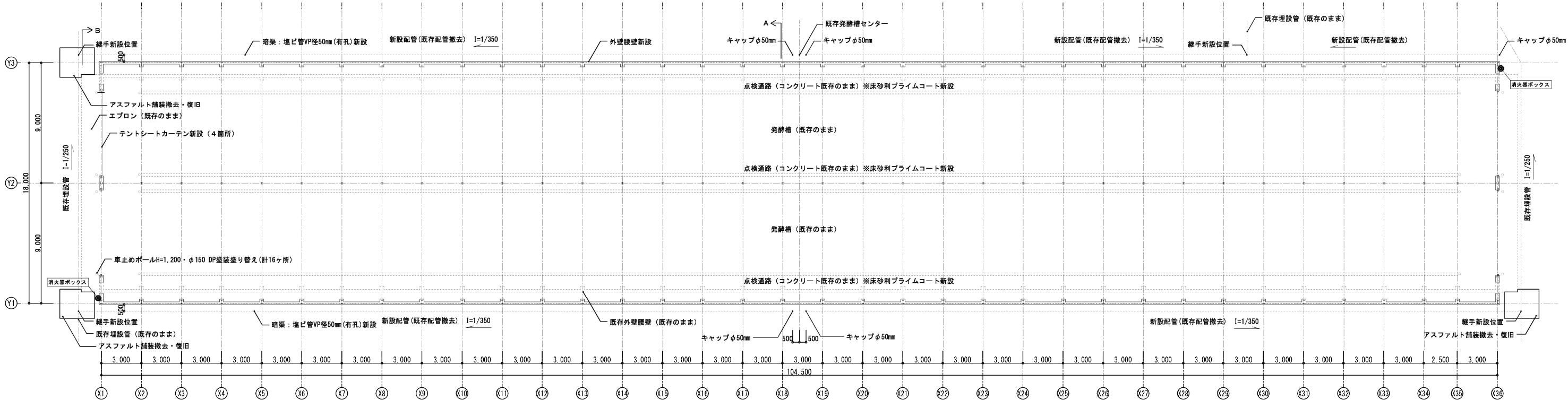
付近見取図 No scale

出典：国土地理院GSI Maps



配置図 1 : 500

敷地内建築物概要				
種別	番号	名 称	階 数	床面積
新築	1	発酵棟 A 棟 (堆肥舎)	1	1,881.00㎡
既存	2	副資材庫	1	248.40㎡
	3	貯留槽	1	2,822.25㎡
	4	管理棟 (事務所)	1	34.30㎡
	5	計量施設	1	81.25㎡
	6	消毒施設	1	67.89㎡
	7	発酵棟 B 棟 (堆肥舎)	1	1,881.00㎡
	8	発酵棟 C 棟 (堆肥舎)	1	1,697.59㎡
	9	原料棟 (堆肥舎)	1	521.22㎡
合 計				9,234.90㎡



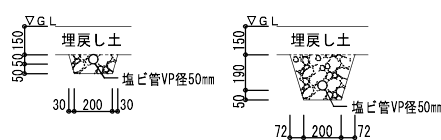
平面図

消火器設置数量

消火器 ABC10型 (A-3, B-7, C) 2本設置し専用ボックスで保護をする。(消火器本体の設置は事業対象外とする)
専用ボックスの位置は平面図に依る。

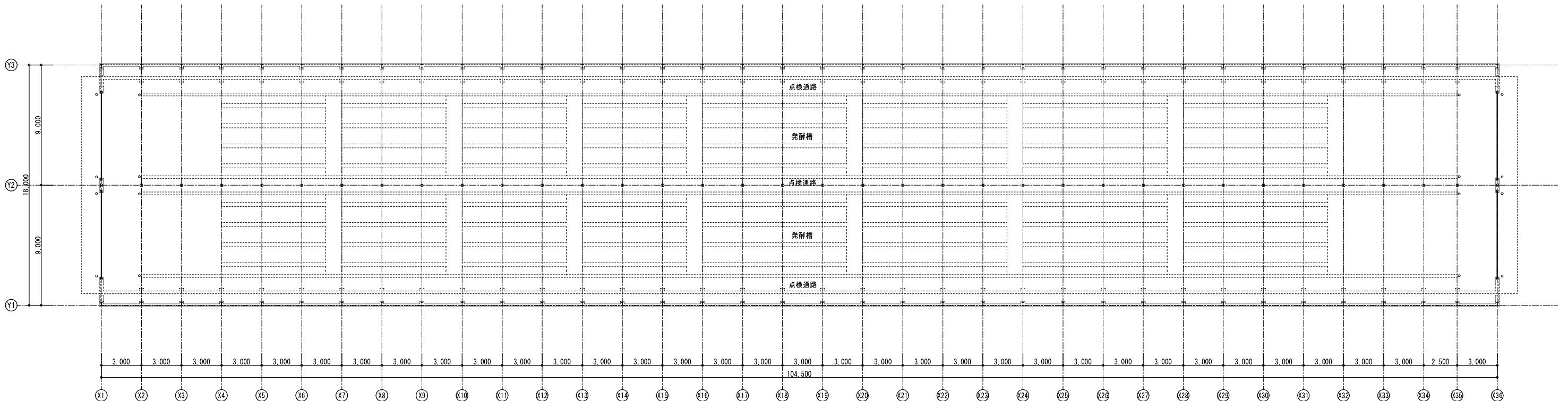
暗渠配管特記事項

1. 新設配管は既存埋設管との接点に継手を新設し接続。
2. 新設配管の高さは既存と同じとする。

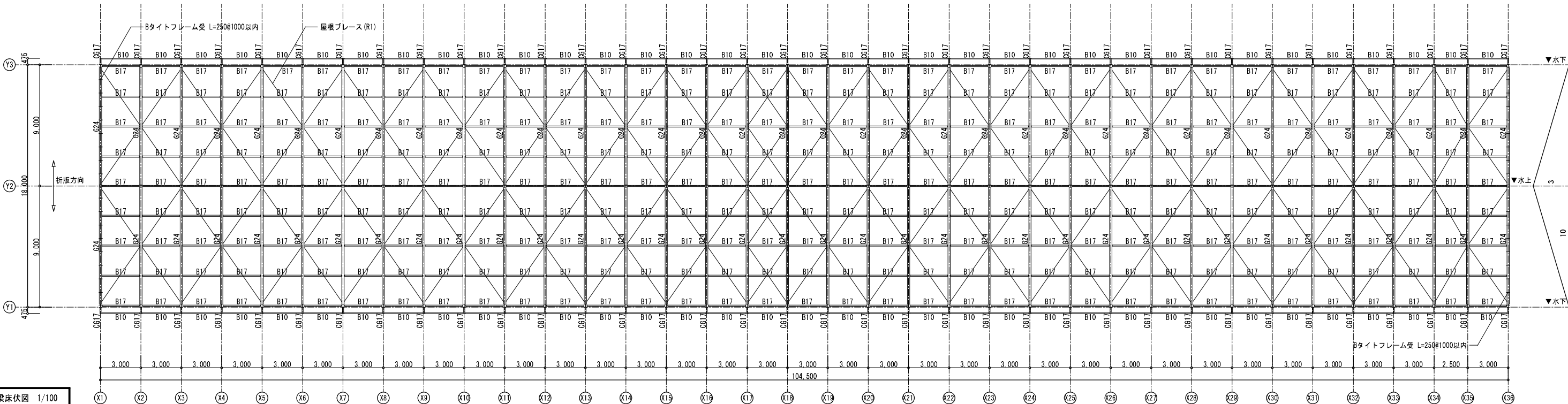
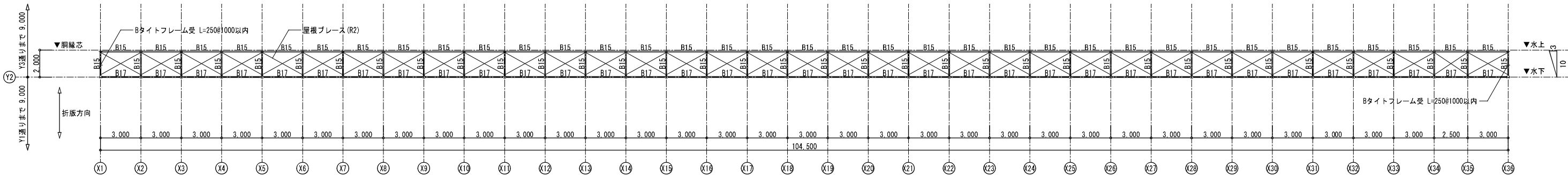


A断面 1/20

B断面 1/20

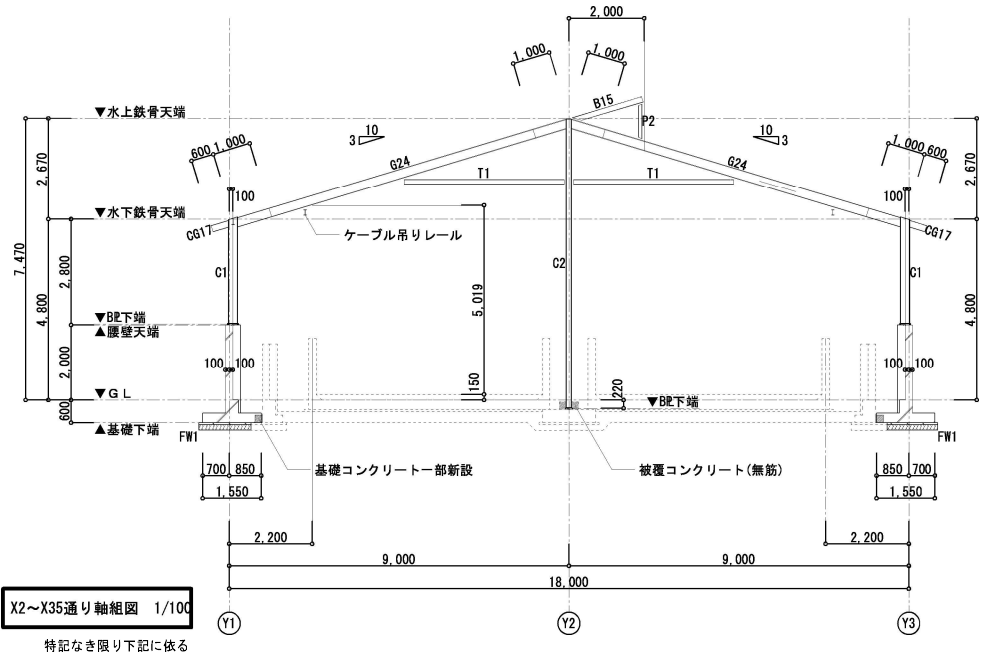
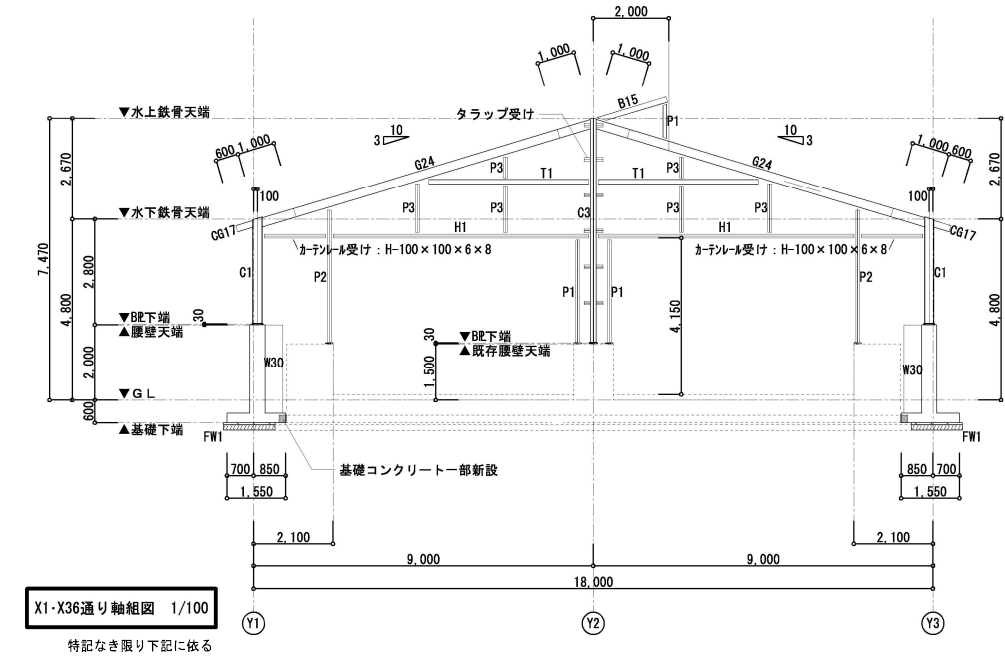
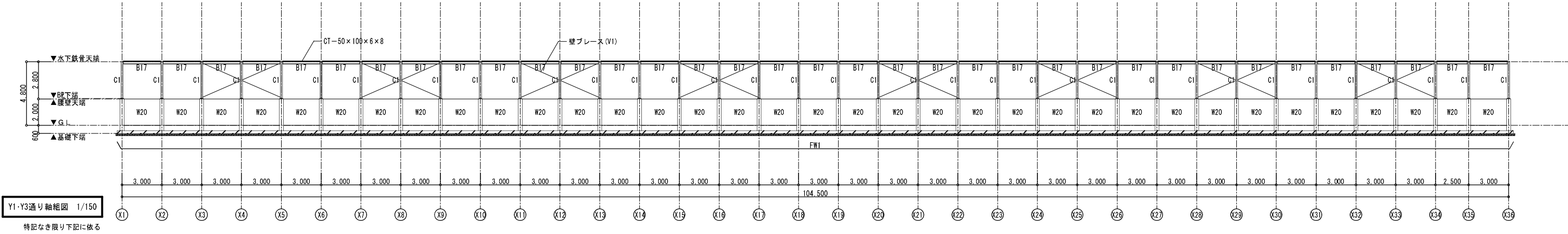
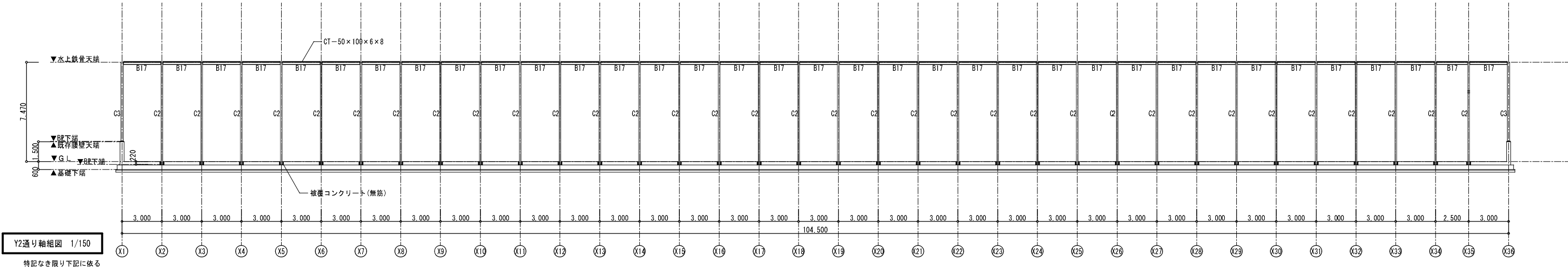


平面図 (床仕上表記)



R階梁床伏図 1/100

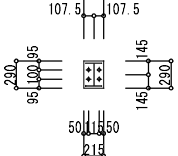
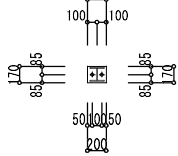
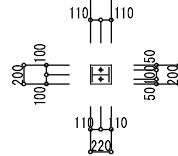
特記なき限り下記に依る
1. RSL(水下) = GL + 4.800
2. 大梁・小梁上端: RSL ± 0 (水下)
水勾配は3/10以上とする




鉄骨部材リスト					・鉄骨材質（無印）：SS400					・高力ボルト：F8T					・ボルトヘリアキ：40mm / ボルトピッチ：60mm				
符 号		部 材			接 合 条 件 ・ 備 考														
G24	(全断面)	H-244×175× 7 ×11			剛接合：J-24														
CG17	(全断面)	H-175× 90× 5 × 8			工場溶接														
B17	(全断面)	H-175× 90× 5 × 8			GⅡ- 9 HTB. 2-M20														
B15	(全断面)	H-150× 75× 5 × 7			GⅡ- 6 HTB. 2-M16														
B10	(全断面)	[-100× 50× 5 ×7. 5			GⅡ- 6 HTB. 2-M16														
C1	(全断面)	H-244×175× 7 ×11			ベースプレート詳細図に依る。														
C2	(全断面)	H-150×150× 7 ×10			ベースプレート詳細図に依る。														
C3	(全断面)	H-194×150× 6 × 9			ベースプレート詳細図に依る。														
H1	(全断面)	H-148×100× 6 × 9			GⅡ-6 HTB. 2-M16(横使い)														
P1	(全断面)	H-100×100× 6 × 8			GⅡ-6 HTB. 2-M16 BASEⅡ-12×120×180 A-BOLT. 2-M16(L=560)														
P2	(全断面)	H-148×100× 6 × 9			GⅡ-6 HTB. 2-M16 BASEⅡ-12×170×180 A-BOLT. 2-M16(L=560)														
P3	(全断面)	2C-100× 50× 20×2. 3			GⅡ-6 B. N. 2-M12 (緩り合わせ材：FB-6×50@600以内)														
T1	(全断面)	H-125×125×6. 5× 9			GⅡ-9 HTB. 3-M20(縦使い)														
屋根ブレース (R1)	(全断面)	1-M16(ターンバックル付き)			GⅡ-6 (羽子板：FB-6×55) HTB. 1-M16														
屋根ブレース (R2)	(全断面)	1-M12(ターンバックル付き)			GⅡ-6 (羽子板：FB-6×55) HTB. 1-M16														
壁ブレース (V1)	(全断面)	1-M20(ターンバックル付き)			GⅡ-9 (羽子板：FB-9×70) HTB. 1-M20														
ケープル 吊りレール	(全断面)	I-150× 75×5. 5×9. 5			GⅡ-6 HTB. 4-M16														
ロایت フレーム受	(全断面)	C-100× 50× 20×2. 3			GⅡ-4. 5 B. N. 2-M12 L=250 @1000以内														
トラップ受け	(全断面)	CT- 50×100× 6 × 8			工場溶接														

※ 有効細長比は柱にあっては200以下、柱以外のものにあつては250以下とする。


※ 錆止め塗装：溶融亜鉛メッキ

ベースプレート詳細図 【1/40】 ・鉄骨材質(無印): SS400		アンカーボルト標準寸法	
符 号	C 1	C 2	C 3
鉄骨断面	H-244×175×7×11	H-150×150×7×10	H-194×150×6×9
断 面			
ベースプレート	R-19×215×290	R-16×200×170	R-16×220×200
アンカーボルト	4-M16 (L=480)	2-M16 (L=480)	2-M16 (L=480)
	SS400 (W. N. 締め)	SS400 (W. N. 締め)	SS400 (W. N. 締め)
リブプレート	—	—	—
定着板	—	—	—



無収縮モルタル(30)

90° フック

基礎柱リスト	【1/40】	・特記なき限り下記に依る。
		・基礎柱は、四隅の主筋をフック付きとし、TOP・H00Pは2-D10とする
符 号	C 1	
鉄骨断面	H-244×175×7×11	
断面		
b × D	350 × 400	
主 筋	8-D19	
帯 筋	□-D10@100	

基礎梁リスト	【1/30】	・特記なき限り下記に依る。 ・幅止め筋・2段受け筋 ← D10@1000以内	
符 号	FG 1		
位 置	全断面		
h × D	330 × 550		
上端筋	3-D19		
下端筋	3-D19		
あばら筋	□-D13@200		
腹筋	2-D10		
備 考	腹筋定着30d		

[illegible]

補配筋詳細図 【1/30】

中柱(C2)柱脚コンクリート一部復旧

被覆コンクリート(無筋)
300×300 (新設)

基礎コンクリート復旧

▼ G L

200

400

Y2

A-BOLT 2-M16(フック付き)
L=480 二重ナット締め(新設)

C2(新設)

BE-16×170×200(新設)

被覆コンクリート(無筋)
300×300 (新設)

無収縮モルタル#30

▼ G L

▼ BE下端

220

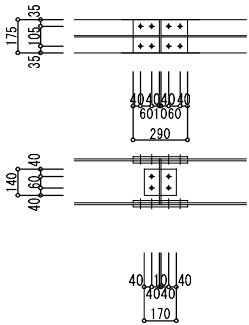
200

525 525

X5

基礎コンクリート復旧

※既存A-BOLTの撤去については、コンクリートの復旧・新設A-BOLTへの影響のない範囲で切断するものとする。

大梁継手図		【1/20】	・「SCSS-H97鉄骨構造標準接合部 H形鋼編〔S〕単位表示」 ・鉄骨（添板）材質（無印）：S S 4 0 0 ・高力ボルト：F 8 T ・ヘリアキ：40mm / ピッチ：60mm
符 号	J-24		
鉄骨断面	H-244×175×7×11		
断 面			
F L A	1 S E- 9×175×290		
	2 S E- 9× 70×290		
	H T B. 2×2-M20		
W E B	2 S E- 9×170×140		
	H T B. 1×2-M20		

雄配防詳細図 【1/30】		
腰 壁 (W20)	既存腰壁 (W30) コンクリート部復旧	ひび割れ誘発目地 (W20)
※新設C2・P1部の腰壁コンクリートの復旧は同様の考え方とし、 柱脚詳細については、鉄骨部材リスト・ベースプレート詳細図によるものとする。		

■ 共通事項

1. 特記なき事項については「建築工事共通仕様書」または「建築改修工事共通仕様書」による。
2. 仕様材料
 - 1) コンクリート強度：F_o=21N/mm²
3. 注意事項
 - 1) 既存コンクリート躯体面(カッター入れ部分)は目視し を行い十分清掃する。
 - 2) コンクリート打ち込み前には、せき板・既設コンクリート表面などを十分に水湿しを行う。
 - 3) コンクリートの打設にはバイブレーターの使用、またはタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。

